

事業概要シート

施策 0602 高齢者の生きがいくりと介護予防の推進 <>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	指定介護予防支援事業	現状維持	予算額	57,932 千円
				<< 60,716 >>千円
事業期間	平成18年度 ~		国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
根拠法令要綱等	・介護保険法 ・大村市指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準等を定める条例等	財源内訳	その他	50,346 千円
			一般財源	7,586 千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

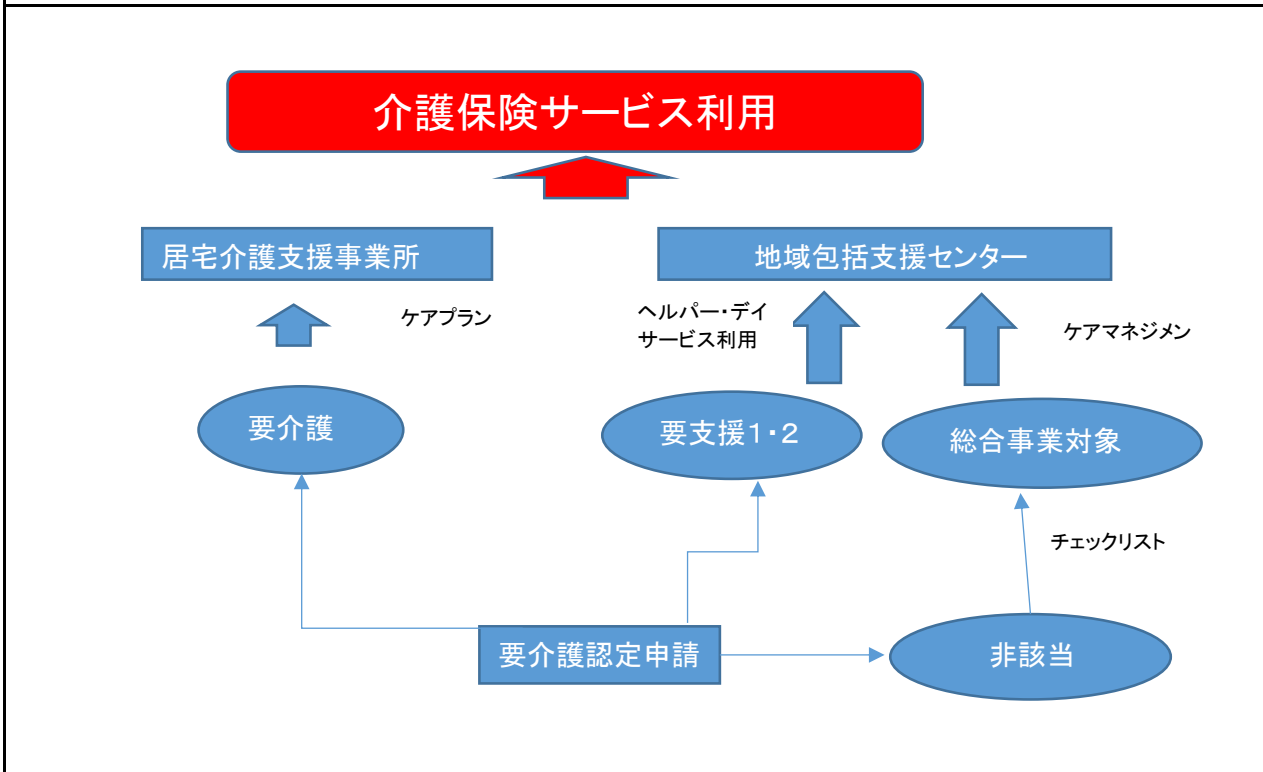
介護認定の中で介護予防の対象とされる軽度者に対し、生活機能の低下に見合った内容のサービスを適切な時期に提供することにより、状態の維持や改善を図り、要介護状態になることを予防する。また、利用者の主体的な活動と参加意欲を高めることを目指す。

【概要】

適切な課題分析を実施し、対象者の状態の特徴を踏まえた目標を設定し、本人を含め、かかりつけ医や介護保険のサービス事業所等による担当者会議を通じ、対象者の改善可能性を実現するための適切なサービスを選択したプランを策定する。また、状態の変化時だけでなく、一定期間ごとに評価、見直しというサイクルで動かしていく。

【対象】

要支援1.2認定者及び総合事業対象者



【背景】

高齢者の増加が進み、介護認定者も増加の一途を辿っている。本市においては、介護予防や新総合事業への早期取り組みの成果からか要介護者の出現は抑制され、要支援認定者数が増えている。

担当課	長寿介護課	課長	前川 靖彦
担当者	家富 聡子	問合せ先	0957-53-8141 (内線203)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	介護予防プラン、ケアマネジメントプラン作成件数	目標値 件	10,279	11,032	12,080	11,385	11,385
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	プランナーの配置数	目標値 人	16	17	18	18	18
②		目標値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	47,560	53,122	60,716	57,932	57,932	57,932	335,194
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	45,589	44,250	56,314	50,346	50,346	50,346	297,191
一般財源	1,971	8,872	4,402	7,586	7,586	7,586	38,003
人件費	2,397	4,306	6,720	6,720	6,720	6,720	33,584
職員(人)	0.27人	0.50人	0.81人	0.81人	0.81人	0.81人	4.01人
時間外勤務(h)	189h	335h	415h	415h	415h	415h	2184h
嘱託員(人)	0.03人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.03人
フルコスト	49,957	57,428	67,436	64,652	64,652	64,652	368,778

妥当性 (市の関与)	市の高齢施策と地域包括支援センターは一体的に事業展開をする必要が高いため、市が実施主体となるのが妥当である。
有効性 (施策貢献度)	要支援1.2認定者及び総合事業対象者に対し、介護予防・重症化予防の目標をもってプラン作成をしており、介護予防の施策に貢献するものである。
効率性 (コスト)	介護予防ケアマネジメント業務をパート職員で対応しており、必要最小限に抑えている。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--